

平成27年度行政事業レビューシート ( 内閣府 )

事業名	男女共同参画基本計画改定			担当部局庁	男女共同参画局			作成責任者	
事業開始年度	平成27年度	事業終了 (予定)年度	平成27年度	担当課室	推進課			課長 大隈 由加里	
会計区分	一般会計			政策・施策名	-				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	男女共同参画社会基本法第13条			関係する計画、 通知等	第4次男女共同参画基本計画				
主要政策・施策	男女共同参画			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度以 内)	男女共同参画基本法第13条では、「政府は、男女共同参画社会の形成に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図るため、男女共同参画社会の形成の促進に関する計画的な計画を定めなければならない。」とされており、第4次男女共同参画基本計画を策定することにより、男女共同参画社会の促進に関する施策の総合的かつ計画的な推進を図る。								
事業概要 (5行程度以内。 別添可)	男女共同参画基本計画の改定にあたっては、広い視野に立った多角的な面からの検討が必要であることから、国民の声を広く聞くための公聴会等を実施する。また、都道府県における計画策定を支援するための研修会の実施、国民に周知するための印刷物の作成を行う。								
実施方法	直接実施、委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求		
		補正予算	-	-	-	13.8			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	13.8	0		
	執行額	-	-	-	-	-			
執行率 (%)	-	-	-	-	-				
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 <input type="checkbox"/> チェック									
定量的な 成果目標 の設定が 困難な 場合	定量的な目標 が設定でき ない理由 及び定 性的な成 果目標	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と24～26年度の達成状況・実績				
		本計画は全府省の施策の推進のための総合的な内容であり、特定の数値目標を用いてその達成を図ることは困難。			男女共同参画基本計画の改定とその周知による男女共同参画社会の実現に向けた政策の推進				
	事業の妥当性 を検証する ための代替 的達成目標 及び実績	代替目標	代替指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 28 年度
		男女共同参画基本計画に盛り込まれた施策の推進状況を把握する ※毎年度の「男女共同参画白書」で状況を確認する。	男女共同参画基本計画に盛り込まれた施策の推進状況の確認	実績	回	-	-	-	
				目標値	回	-	-	-	1
				達成度	%	-	-	-	
	活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
		基本計画改定に係る公聴会の実施回数			活動実績	回	-	-	-
					当初見込み	回	-	-	6
	活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
第4次男女共同参画基本計画冊子等の印刷部数			活動実績	部	-	-	-		
			当初見込み	部	-	-	40,000		
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込	
	第4次男女参画基本計画普及啓発に伴う研修会の実施回数			活動実績	回	-	-	-	
				当初見込み	回	-	-	3	
単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	基本計画改定に係る公聴会の支出見込み額/公聴会の実施見込み回数			単位当たり コスト	円	-	-	-	857,500
				計算式	円/回数	-	-	-	5145000/6
単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	第4次男女共同参画基本計画冊子等の印刷の支出見込み額/印刷見込み部数			単位当たり コスト	円	-	-	-	184
				計算式	円/回数	-	-	-	7374000/40000
単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	第4次男女参画基本計画普及啓発に伴う研修会に係る支出見込み額/			単位当たり コスト	円	-	-	-	432,667
				計算式	円/回数	-	-	-	1298000/3
内訳 (単位: 百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	委員手当	1.2							
	諸謝金	0.2							
	職員旅費	0.4							
	委員等旅費	0.7							
	庁費	11.2							
	計	13.8	0						

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	男女共同参画のための計画であり、国民や社会のニーズを反映している。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	男女共同参画社会基本法において、基本計画は政府が定めることとなっているため、地方自治体、民間等に委ねることはできない。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	男女共同参画基本計画の策定は、男女共同参画社会基本法において政府に義務づけられており、必要かつ適切な事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		-		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		-		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		-		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-		
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		-		
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		-		
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		-		
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-		
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果	予算として計上している経費は、男女共同参画基本計画改定のために国民の意見を取り入れ、また、国民に計画改定を周知するためのものである。支出費目及び使途は真に必要なものに限定し、適切かつ効率的な予算執行に努める。			
	改善の方向性	契約の際は、適正な方法により支出先を選定することとしており、適切なコスト水準を確保する。			
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	新27-0001		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

内閣府  
(男女共同参画局)  
13.8百万円

※新規要求事業につき、現時点のイメージを記載

公聴会開催経費  
(全国6か所)  
5.1百万円

会場借料、プログラム印刷、  
速記料、職員旅費等

男女共同参画基本計画冊子等  
作成経費  
7.4百万円

計画白表紙等、リーフレット印  
刷、発送費用等

4次計画普及啓発に伴う研修  
経費  
1.3百万円

研修資料印刷、会議室借料

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているかについて補  
足する)  
(単位:百万円)

支出先上位10者リスト

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック